

## 平成 28 年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

| 視点                | 4 年間の目標<br>(平成 28 年度策定)  | 1 年間の目標   | 取組の内容   |  | 校内評価  |  | 学校関係者評価<br>(3月9日実施)   | 総合評価(3月23日実施)   |   |
|-------------------|--|---|---|--|---|--|---|---|---|
|                   |  |   | 具体的な方策  | 評価の観点  | 達成状況  | 課題・改善方策等   |   | 成果と課題   | 改善方策等   |
| 1<br>教育課程<br>学習指導 | <p>①生徒が自ら課題を発見し、探究する意欲を高めることのできる教育課程編成に取り組む。</p> <p>②生徒の主体的な学びを引き出し、一人ひとりに応じた教科指導体制の構築と評価法の研究を行い、組織的な授業改善に取り組む。</p>                                      | <p>①個の特性に応じた学びのための教育課程の改善に取り組む。</p> <p>②組織的な授業改善として、生徒の主体的な学びを引き出す授業展開について研究する。</p>   | <p>①選択科目の見直しや学校設定教科・科目を置くことで、教育課程上のUD化を進める。</p> <p>②主体的な学びを授業研究のテーマとして取り上げ、具体的な取り組みによって組織的な授業改善を行う。</p>   | <p>①教育課程の改訂を行うことができたか。</p> <p>②生徒の主体的な学びを引き出す授業展開について、研究授業や研究協議を行うなど、具体的な取り組みを行うことができたか。</p>   | <p>①探究する意欲を高める弾力的な運用が可能な教育課程編成表を作成した。</p> <p>②通常の教科指導に関する授業改善及びインクルーシブ教育の実践に向けた研修会を複数回実施し、組織的な授業改善に取り組んだ。</p>   | <p>①今後を見据えた教育課程の検討に引き続き取り組む。</p> <p>②主体的な学びを引き出し、わかる授業に向けての研修を行い、授業改善に取り組む。</p>  | <p>・インクルーシブ教育にテーマを絞った取組みは、とても大切である。研修会には、南足柄市教育委員会も参加し、参考になった。</p> <p>・生徒の実態に応じた授業改善も必要で、今後の課題として取組んで欲しい。</p> <p>・生徒による授業評価を数値で示すことは大切である。評価が低くても、課題がそこにあることがわかるので、役立てて欲しい。</p>                                   | <p>①選択科目の見直しやインクルーシブの科目の新設など、教育課程の見直しを進めることができた。今後、評価法や単位認定についての検討が課題である。</p> <p>②個に応じた学びのための授業改善に取り組むことで、生徒の主体的な学びを引き出す授業展開の必要性を感じ取ることができた。今後、実態に応じた、主体的な学びに向けた授業改善および学習支援を進めていく。</p>  | <p>①来年度は、連携募集による生徒が入学することから、生徒の実態に応じた教育活動推進のための具体的な教育課程の改訂を行うワーキンググループでの検討を始める。</p> <p>②個に応じた学びのための授業改善をさらにすすめるとともに、進路実績に反映できる成果をあげるため、進路指導と連動した授業改善および学習支援を進めていく。</p>  |
| 2<br>生徒指導<br>・支援  | <p>①部活動の活性化を推進し、協調性と責任感の涵養を図る。</p> <p>②学校行事や生徒会活動等の精選と充実を図り、生徒の主体的な活動を支援するとともにそのユニバーサルデザイン(以下UD)化をはかる。</p> <p>③生徒指導と生徒支援の一体化を推進し、教育相談体制の充実と外部連携を進める。</p> | <p>①部活動への積極的な参加・活動を支援し、自己実現や他者理解の姿勢・能力を育成する。</p> <p>②生徒会本部をはじめ各種委員会の主体的な活動を支援し、生徒の自主性やコミュニケーション能力の育成をはかる。</p> <p>③個の生徒に応じた生徒指導のあり方について検討し、見直しを行う。</p> | <p>①安全かつ円滑な部活動が行える環境整備に努め、良好な部活動加入率(70%)を維持し、実績の向上とともに人間形成の場として支援していく。</p> <p>②生徒会行事において、生徒の主体的な企画・運営が図れるように指導をしていくとともに、地域行事や近隣の学校等との交流への取り組みを通して、生徒の可能性を伸ばす。</p> <p>③生徒支援の視点を積極的に取り入れて、一人ひとりの生徒の特性と状況に応じた、柔軟な生徒指導について検討する。</p> | <p>①部活動への加入状況はどうだったか。各部および生徒一人ひとりが、それぞれの目標に向けて充実した活動が行えたか。</p> <p>②各行事・活動の企画・運営において、生徒の主体性が生かされ、相互理解を深める機会となったか。</p> <p>③生徒指導の方針について見直しを行い、生徒支援との一体化が進んだか。</p> | <p>①部活動加入率は69%で目標を若干下回ったが、年間を通して安定した活動が行えた。関東大会や全国大会に進んだ部もある中、各部ともそれぞれの目標に向けて取り組んだ。</p> <p>②足高祭、球技大会など、生徒会本部を中心に生徒が主体となった運営を行うことができた。地域清掃や行事に積極的に参加し、足高祭における小田原養護学校との連携も図った。</p> <p>③個の生徒に応じた生徒指導のあり方について検討し、次年度から新しい方針で臨むための準備をすることができた。</p> | <p>①部活動への参加促進のため、中学生対象の学校説明会等の機会を有効に活用する手だてについて検討する。安全かつ円滑に活動できるように、部室や練習場などの環境整備をすすめる。</p> <p>②生徒の自主性・主体性をより引き出すために、各種委員会の活性化や、生徒会本部と連携した幅広い生徒活動の展開をすすめる。</p> <p>③生徒支援Gとの連携のあり方や、スマートホン等の今日的な課題への対応等について検討を重ねる。</p> | <p>・地域の様々な行事に、部活動が参加してくれており、感謝している。</p> <p>・南足柄市のいじめ防止フォーラムでは、小中学生をリードしてくれて助かった。</p> <p>・SNSの不適切な使用について、小中学校でも問題になっていることがあり、良い指導法があれば、小学校・中学校でも共有させて欲しい。</p> <p>・自転車通学について、地域からの情報提供を他の自治会にも呼びかけ、生徒の安全をはかりたい。</p> | <p>①部活動加入率は、現状を維持することができ、活動も例年通りであった。生徒主体の活動へと移行し、質的な向上をはかることが課題である。また、生徒数が減少する状況で、部員数を確保する工夫も必要である。休養日の設定や学習と両立できる部活動への転換が課題である。</p> <p>②生徒が主体的に活動する生徒会行事づくりを一層進めるとともに、ユニバーサルデザイン化によって、すべての生徒が積極的に参加できる行事へと進化させることが課題である。</p> <p>③指導と支援の一体化を進め、丁寧で適切な指導を行うための指導法を検討することが課題である。また、生徒の命を守る交通安全指導をPTAや地域との連携で進める。</p> | <p>①部活動顧問間の連携を図りながら、より適切な指導のあり方や効果的な休養日の設定などを組織的に検討して、その実践を行う。</p> <p>②個の特性やニーズに応じた生徒会行事の実施と生徒主体の活動へ指導方針を明確に定めるよりも、生徒主体で試行錯誤や失敗から得られることがあるという価値観を共有して指導にあたる。</p> <p>③問題行動の根本にある生徒の生育歴にも目をむけた指導と支援を行い、社会性を高めるために、指導と支援の一体化を進める。また、交通安全指導については、保護者や地域との連携を図りながら指導の成果をあげる。</p> |

|   |              |   |   |   |   |  |  |  |  |  |
|---|--------------|---|---|---|---|--|--|--|--|--|
| 3 | 進路指導・支援      | <p>①生徒自身が体験し、考えていけるキャリア教育を計画的・段階的に実践する。</p> <p>②「実践推進校」として、生徒一人ひとりの社会接続を実現するために、ていねいな進路支援を行う。</p>                         | <p>①外部機関と連携し、学年に応じた進路学習を企画し、生徒の学びを支援する。</p> <p>②粘り強く進路の目標を達成しようとする姿勢を身につけさせる進路指導・支援に取り組む。</p> | <p>①生徒の希望や個性に応じたキャリア教育実践のための体験先を開拓する。</p> <p>②進路ガイダンスや進路相談日を活用して、生徒の進路に対する意識を高める。</p>                           | <p>①新たな体験先を開拓することができたか。キャリア教育実践のための計画を整備できたか。</p> <p>②生徒の進路に対する意識を高めることができたか。</p> | <p>①後期インターンシップなど新たな体験の場への参加を生徒に呼びかけた。新たな体験先の開拓については、情報収集にとどまり、まだ不十分である。</p> <p>②一般入試希望者対象の進路ガイダンスの回数を増やすなどして、生徒の進路意識を高めた。</p>          | <p>①保育園や病院など生徒の希望の多いところは新規開拓が難しい。新規に担当をにおいて、新しい体験先を開拓する必要がある。</p> <p>②新たに校外模試を導入するので、進路に対する意欲を高めるために、結果をいかに活用するかが課題である。</p>                    | <p>・インターンシップについては、選択の幅が広いので対応は難しいが、機会を増やすことが大切である。</p> <p>・社会接続を考える上で、高校生として身につけておいて欲しいのは、礼儀正しく、他者とコミュニケーションをとる能力である。人と交わる積極性が大切である。順応力は後から付いてくるものである。</p>   | <p>①インターンシップの新規開拓については、十分な成果は得られなかった。インクルーシブ教育における社会接続の手立てとして、次年度は高校生活の中でコミュニケーション能力の育成に焦点を絞る。その間にインターンシップ先の開拓を行いたい。</p> <p>②校内での学習成績や校外模試の結果を踏まえた進路指導に向けた準備を行うことができた。次年度は、より高い進路希望の実現を目指した指導の実践を行う。</p> | <p>①個の特性やニーズを把握しながら、実態に即したインターンシップ先の開拓や実習を行うための準備を行う。日常の生活の中での共生をテーマに、他者理解やコミュニケーション能力を育み、社会接続に必要な基礎的能力を育成する。</p> <p>②粘り強く進路実現に向けて挑戦する姿勢を育む学習指導と進路指導を行う。校外模試のデータを進路指導に活用するとともに、生徒を励まし続ける指導を徹底する。</p>               |
| 4 | 地域等との協働      | <p>①地域に情報発信するとともに、生徒の地域理解と地域貢献を通じ、連携と協働を推進する。</p> <p>②地域と連携して、地域防災を推進する。</p>  | <p>①ホームページ、説明会や配付資料を通して情報を発信する。</p> <p>②南足柄市等と連携し、災害時における対応を、検討・確認する。</p>                     | <p>①ホームページをできるだけ速やかに更新する。中学生・保護者対象の説明会では配付資料を作成し、新しい情報を載せる。</p> <p>②災害時における対応を南足柄市等との検討・確認を進め、マニュアルの改訂をはかる。</p> | <p>①ホームページの更新を月に1度以上行うことができたか。</p> <p>②マニュアルの検討・改訂ができたか。</p>                      | <p>①ホームページを速やかに更新するように努めた。また、中学生・保護者対象の説明会では新しい情報を載せた資料を配付した。</p> <p>②8/24(水)に、南足柄市防災安全課職員2名及び足柄高校担当職員4名が参加した、避難所開設(資機材)訓練を行った。</p>    | <p>①ホームページの更新作業にあたり、技術継承が課題である。</p> <p>②南足柄市は避難所の機能を考え体育館以外の施設も使用したいと申し出ているが、生徒の有無や学校機能を維持することを考えると難しく、今後の調整が必要である。</p>                        | <p>・HPの更新については、南足柄市も同じ課題を持っている。担当者の研修会で、研修を短時間で終わらせ、残りの時間はHPの更新に使うなどの取組みを行っている。</p> <p>・企業でも、外向けのHPの更新は、企業イメージや信頼に関わる。信頼に関わる業務だと認識する必要がある。</p> <p>・地域の美化活動に多くの運動部・文化部の生徒が参加してくれた。高校生の若い力を頼もしく思う。</p> <p>・防災マップでは、本校周辺はイエローゾーンに入っており、土砂災害に対する注意が必要な地域である。</p> | <p>①ホームページの更新業務については、担当者に過大な負担をかけることの無いような組織的な体制を構築する必要がある。関係グループが連携して迅速な更新が行える方法を工夫したい。</p> <p>②防災関係の南足柄市との連携は、密に行うことができた。土砂災害に対する備えに不十分な点があるので、市と連携して解決の手立てを探りたい。</p>                                  | <p>①情報管理グループのホームページ担当者を中心に、掲載情報を提供する他グループの担当者を決め、組織的な更新業務が行える体制をつくる。</p> <p>②南足柄市の作成した防災マップと活用し、土砂災害時における避難のシミュレーションを行い、対策を協議する。</p> <p>○本年度、ボランティア委員会を立ち上げ、活動を始めた。生徒の主体的な活動も見られた。地域での活動の活性化等、次年度の課題として取り組みたい。</p> |
| 5 | 学校管理<br>学校運営 | <p>①学校全体で教育環境に対する課題を共有し、組織的・計画的に改善していく体制を整える。</p> <p>②特に校内のバリアフリー化と教育活動のUD化を推進する。</p> <p>③不祥事防止に努め、実効性のある組織的な取り組みを行う。</p> | <p>①バリアフリーの見地に立ち、施設のあり方を検討する。</p> <p>③複数での点検確認等により、互いにミスを防ぐ組織づくりを行う。</p>                      | <p>①施設のあり方を見直し、対応できるものについてバリアフリーを進める。</p> <p>③風通しのよい職場環境づくりによって、不祥事防止に向けた組織的な取り組みを行う。</p>                       | <p>①リソースルームの整備やトイレの改修などにおいて、バリアフリーを進めることができたか。</p> <p>③事故・不祥事ゼロを達成することができたか。</p>  | <p>①リソースルームの整備や新一年の教室の窓に手すりを設置した。また、新一年生が主に使用するトイレの入口にカーテンを設置し、直接内部が見えないように改善した。</p> <p>③修学旅行マニュアルの一時紛失があり、事故・不祥事ゼロを達成することができなかった。</p> | <p>①校内表示やトイレの整備を今後も行い、施設のユニバーサルデザイン化をすすめる。リソースルームの整備については、学校全体を踏まえ、配置に考慮する必要がある。</p> <p>③具体的な事例について、防ぐ手立てをグループ協議するなど、主体的な研修を行い、不祥事防止に取り組む。</p> | <p>・リソースルームの整備はすばらしい。生徒のニーズに応じた施設・設備が必要だと思う。</p>   | <p>①リソースルームの整備や利用規定の作成を行うことができた。次年度は、リソースルームへの人員配置や具体的な利用の実践を行い、成果をあげたい。</p> <p>③事故・不祥事に至る直前で誤りを発見したこともあり、互いの点検によって事故を防ぐことを習慣づけ、主体的な事故防止体制を確立する。</p>   | <p>①リソースルームでの実践的な取り組みを進めながら、担当者の配置の仕方や規定についての見直しを進め、長期的な視点でリソースルームを活用し、成果をあげる。</p> <p>③想定される事故については、未然防止のための方策を検討することを習慣づけ、主体的な事故防止体制を確立する。</p>  |